

2018年4月17日

報道関係各位

医療法人社団 都会、株式会社ゆうホールディングスと包括協定を締結
地域包括ケアの発展に向け、産学連携の先進的な取り組みを開始

京都薬科大学は4月17日(火)、医療法人社団 都会(渡辺西賀茂診療所)、株式会社ゆうホールディングスと「地域包括ケアシステムにおける在宅医療の発展と向上」を目的に包括協定を締結、調印式を行いました。

2025年に超高齢社会がピークを迎えるといわれている中、これまでの医療供給体制の充実に加え、住み慣れた場所で生活し続けられるような医療・介護・福祉が一体となった「地域包括ケアシステム」の構築が急務となっています。

本協定は、日々在宅医療の現場で尽力されている「診療所(地域医療機関)」「薬局」との包括的な連携のもと、三者で「相互の学術交流」「疫学研究の推進および研究成果の地域医療への還元」「医療活動・教育研究活動に資する人材育成」を行ってまいります。

将来の在宅チーム医療システムを構築するには、在宅医療を実践しノウハウを持つ医師および薬局薬剤師と教育・研究機関である大学が一体となる必要があります。

本学は、このような取り組みでそれぞれの特徴を生かし、地域医療を支えるための医療・研究活動を通して、患者さんが地域に根差したより良い医療を受けるための「薬物療法の質向上」を目指し、QOLの向上に貢献していきたいと考えています。

なお、このような地域医療施設・薬局・大学の三者による連携は、全国的に見ても先進的な取り組みとなります。



調印式の様子

(右から医療法人社団 都会理事長 渡辺 康介、京都薬科大学長 後藤 直正、
株式会社ゆうホールディングス代表取締役会長 宇野 進)

1. 調印内容について

(1) 教育、研究および医療の全般に係る相互支援に関すること

【例】 臨床現場のデータを活用した疫学研究、共同研究の推進。

(2) 大学院生および学部学生の教育指導・実習に関すること

【例】 在宅医療に特化したアドバンスプログラムの継続。診療所、薬局での実務実習を履修。

在宅医療で活躍できる薬剤師を育成。大学院「がんプロセス」における、がん専門薬剤師の育成指導。

(3) 職員の相互交流に関すること

【例】 相互の学術交流を目的とした合同カンファレンスを開催。アドバンスプログラムの成果の共有。在宅医療の薬学的視点からの発展を目指す。

(4) 地域・社会貢献に関すること

【例】 地域医療の発展、一般市民向け公開講座の開催。

(5) その他協議し、必要と認めた連携事業に関すること

2. 本学の取り組みについて

日々、在宅医療の現場で尽力されている「診療所（地域医療機関）」「薬局」での実際の在宅医療を薬学生が学び、地域の在宅医療を支える人材を育成します。具体的には、「学部生（5年次）」「大学院生（博士課程）」に以下のような教育プログラムを実施し、地域薬局で在宅における患者さんを全人的に把握でき、先進的な薬物療法により指導的な役割を果たせる薬剤師の養成を目指します。

在宅医療に関して、診療所（地域医療）および薬局、薬科大学の三者が連携して教育プログラムに取り組むことは、全国的に見ても先進的な取り組みになります。

本協定締結後の三者連携によるキック・オフ的なイベントとして、「在宅医療の現状と課題」をテーマに、地域医療機関合同セミナーを開催します（詳細は別紙をご覧ください）。

【大学院生：4年制博士課程】

がんプロフェッショナル養成課程「個別化がん薬物療法を専門とする薬剤師養成コース」で、約2カ月間、在宅医療の現場で実際の診療に関わりながら実務の実習を行います。また、多職種連携の中での指導的役割を担える人材育成を目指す教育実習プログラムを実施します。

(※) 本学は、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（文部科学省：2017-2021）に採択され、同課程に「個別化がん薬物療法を専門とする薬剤師養成コース」を設置しています。

【学部生：薬学科5年次】

本学5年次生を対象に、約2週間の在宅医療教育プログラムを開講します。

薬学生が、訪問診療、訪問看護、訪問リハ、訪問薬剤に同行することで、薬剤師だけでなく、医師、看護師、技師など多職種との連携を通じて在宅医療の理解を深め、将来の在宅医療を担える人材となり、地域医療に貢献できる人材を育成する場にします。

3. 法人の概要

医療法人社団 都会 渡辺西賀茂診療所

患者さまの『住み慣れた地域・自宅で療養しながら生活したい』という希望を24時間体制で支える【機能強化型在宅療養支援診療所】。訪問診療を継続している患者様からの連絡を24時間いつでも受け、往診、訪問看護を提供できる体制を整えている。

株式会社ゆうホールディングス

京都を中心に調剤薬局「ゆう薬局」を展開。京都府下では80数店舗。コーポレートスローガン『明日を、つなぐ。』のもと、“地域の皆さまとの距離感”を大切にしたいうえで、京都に相応しい姿を目指した薬局運営を行い、地域へ向けた健康サポート機能の拡充と地域貢献活動、在宅医療や地域連携への取組みを強化している。

学校法人 京都薬科大学

1884年創立、私立薬系大学では日本で二番目の歴史と伝統を有する。卒業生は23,000人を超え、病院、薬局、製薬企業ほか薬学関係領域に多様な人材を輩出。『社会を動かす薬学へ。』を新たなスローガンに、チーム医療、地域連携医療、新薬の開発、医療行政の変革のみならず、新時代に呼応した医療推進・健康サポートに活躍できる人材の育成を目指している。

[お問い合わせ先]

京都薬科大学 事務局 企画・広報課
担当：川勝、神田
〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5
TEL:075-595-4691 FAX:075-595-4750
E-mail:kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp